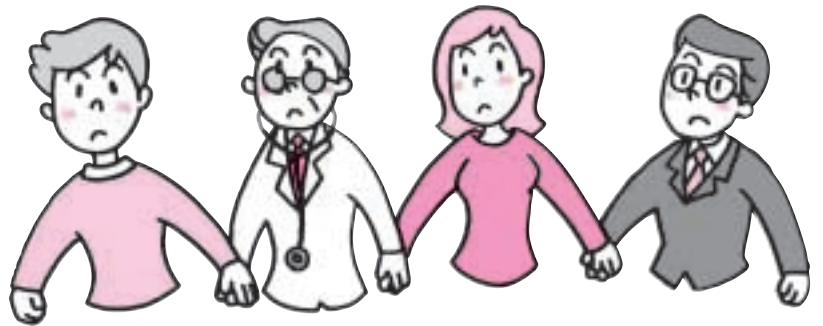


## 第4章 たばこが及ぼす社会への影響



# 第4章 たばこが及ぼす社会への影響

## 1 経済的損失について

ここではたばこの社会的な影響について経済的な観点からまとめてみます。たばこには医療費などのコストがかかる反面、税収というメリットもあります。

まず損失としては、主に以下のようなものがあげられます。

たばこが関連する病気の医療費

喫煙者の早期死亡や病欠による生産性の低下 早期死亡男性の3分の1はたばこが関連する病気

喫煙者の早期死亡による扶養家族への年金支給の前倒し

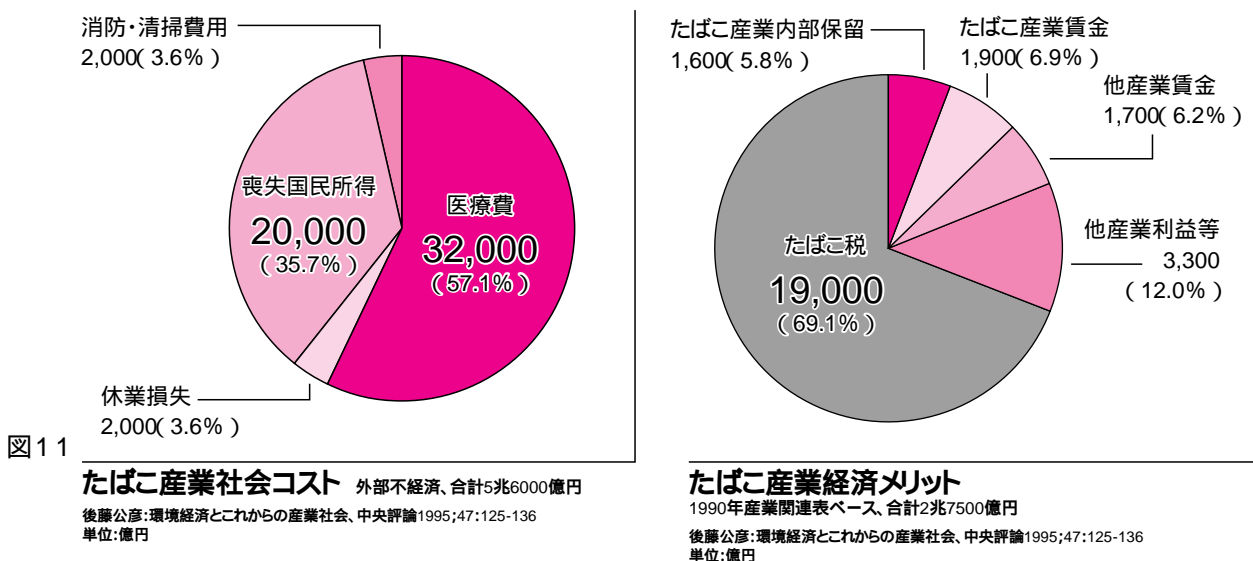
喫煙のための設備、清掃費用

たばこの不始末が原因の火事による損失、消火費用

逆に利益としては次のことが考えられます。

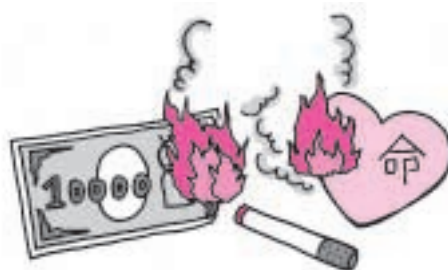
たばこ産業による雇用の創出 たばこの栽培、製造、販売など

では、これらは実際にはどのくらいの費用なのかというと、平成13年12月の厚生労働省の「喫煙と健康問題に関する検討会」報告書では損失が5兆6千億円、利益が2兆7千5百億円と試算されています。つまり、たばこから得られる利益よりも損失のほうが多くなっているという研究事例が紹介されています(図11)。



また、平成14年に発表された医療経済研究機構が実施した厚生科学研究調査報告書によると、医療費の増大(1兆3千億円)、入院や死亡による労働力の損失(5兆8千億円)、火災による物的損失や清掃費用(2千億円)で、合計すると社会全体が負う喫煙によるコストは年間7兆4千億円とされています。

喫煙者の健康への影響は、喫煙率の上昇から20年くらい後に現れてきますから、今後さらに損失面が増大することが予想されます。



## 第4章 たばこが及ぼす社会への影響

### 2 防災・環境美化への影響

たばこの火は800 もの高温です。そして、一日に何十回も建物の中で火をつけたり消したりしているわけですから火災の原因となることが少なくありません。たばこが原因の火災は全体の10%前後も占め、コンロ、放火などともに常にトップクラスになっています。特に、寝たばこが危険ですが、灰皿で消したつもりの火が残っていることも多いようです。

また、ポイ捨てに対しては全国でマナー向上キャンペーンや条例制定、灰皿の設置などが行われていますがなかなか効果があがらないのが現状です。現在使用されているフィルターは、最終的には分解されますが、分解されるのに相当な時間を要するため、この問題を一層助長しています。

これらの防災、環境美化関係の損失は、2千億円に上るとの試算もあり、喫煙者のモラル向上はもとより、たばこ業界、行政など関係団体による継続的な対策が必要です。

参考図書・文献：「医師とたばこ」日本医師会

「喫煙と健康問題に関する検討会報告書」喫煙と健康問題に関する検討会

「たばこ税増税の効果・影響に関する調査研究報告書」医療経済研究機構

